

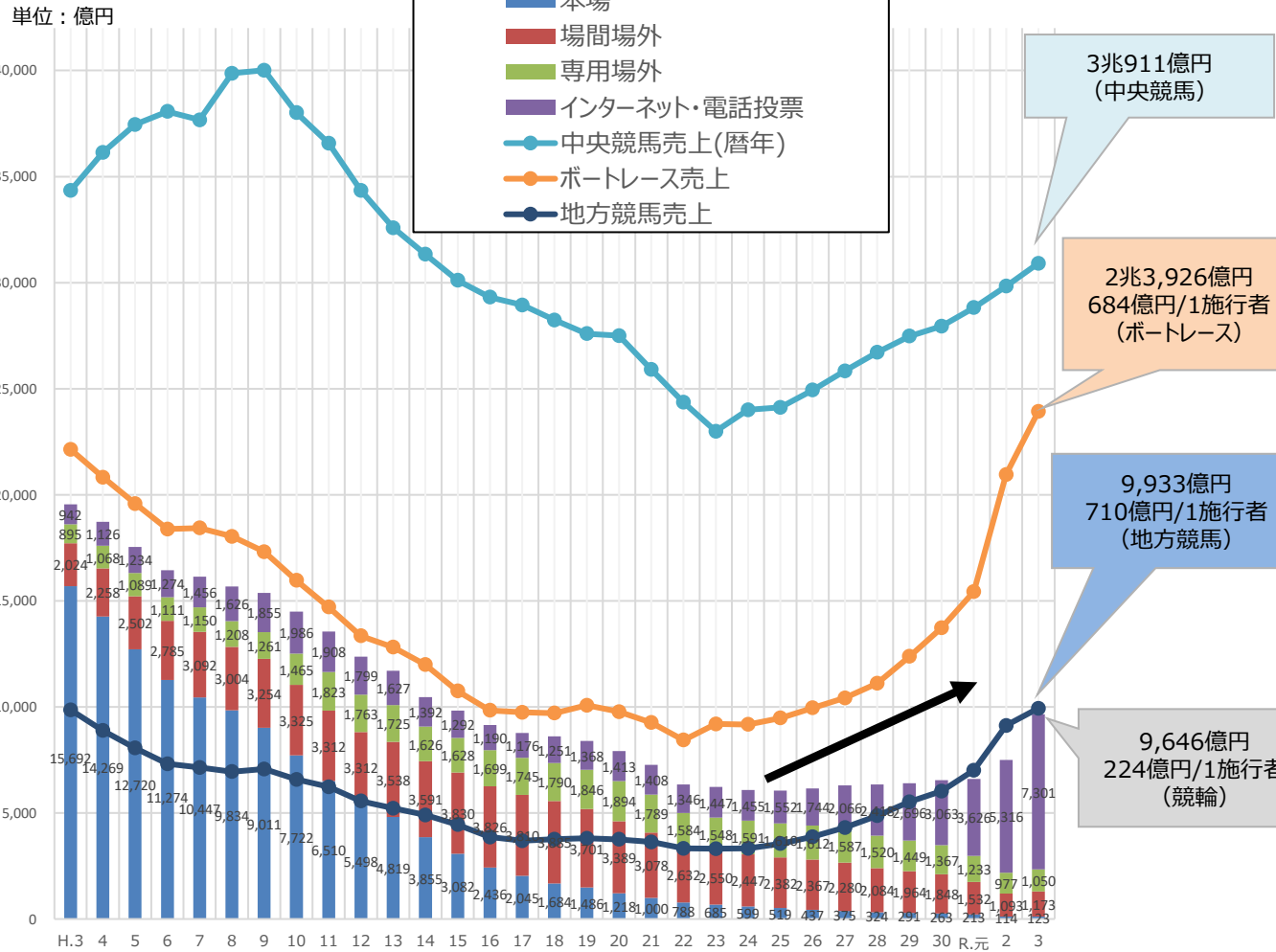
競輪・オートレース業界の現状と課題

令和4年5月26日
経済産業省製造産業局
車両室

競輪施行者全体の売上額と営業活動収益額の推移

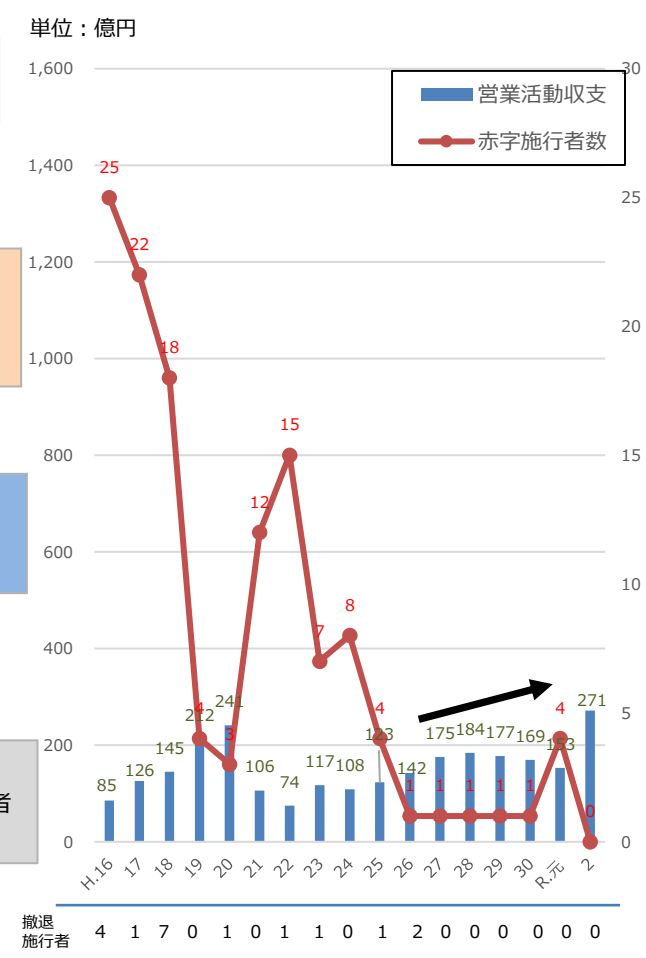
- 中期基本方針目標額である1兆円に迫る9,646億円。目標の上方修正と戦略の練り直しが必要。
- 営業活動収支の持続的回復が課題。

【売上の販路別構成】



出所：各種資料を基に製造産業局車両室作成

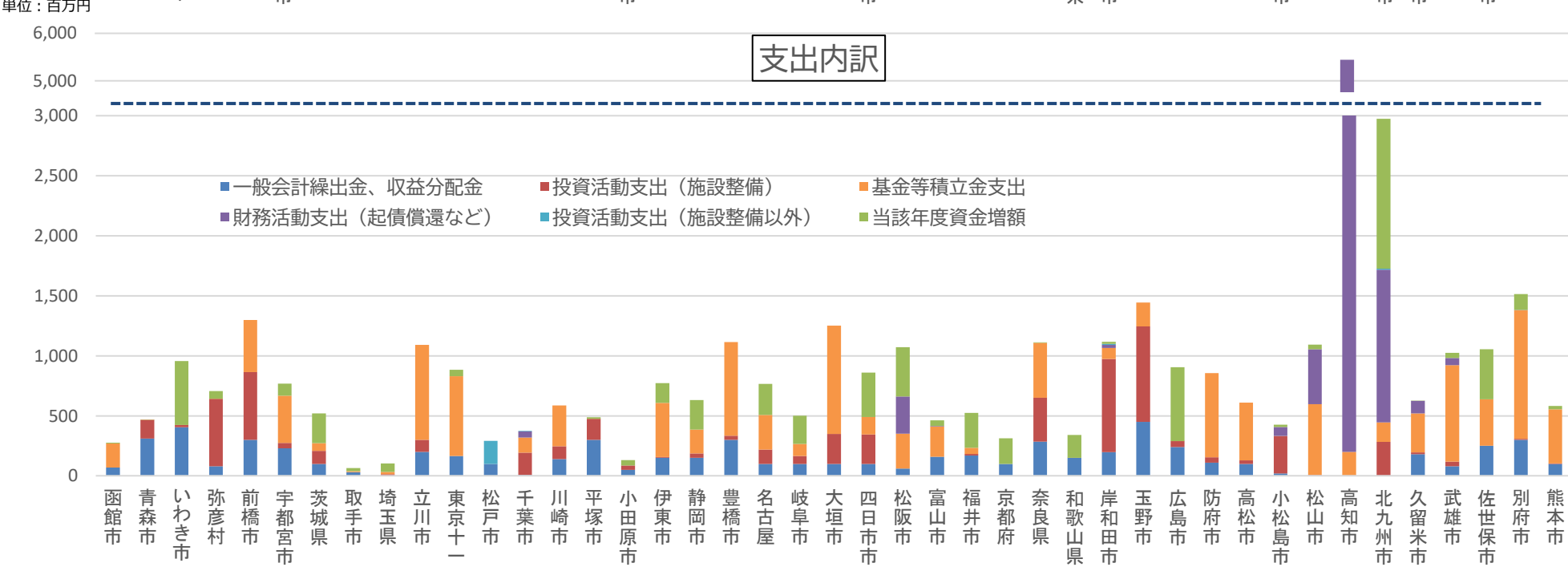
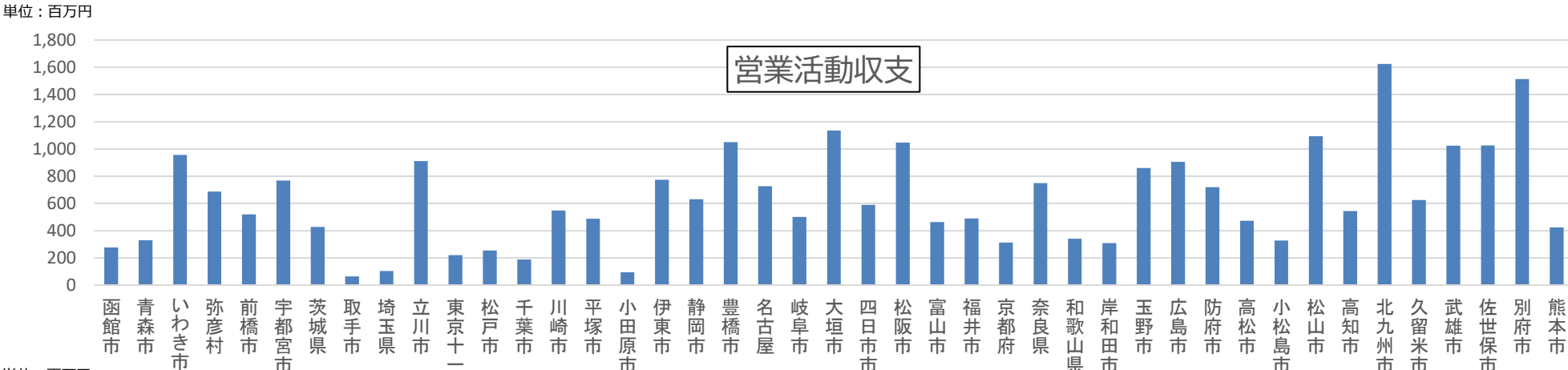
【営業活動収支】



出所：各種資料を基に製造産業局車両室作成

令和2年度 競輪施行者別の営業収支と支出内訳

● 競輪事業の営業収支を見ると、全施行者で黒字となっている。一方、支出面で見ると競輪場等施設整備への支出が主で、一般会計への繰出が少ないことが課題。



出所：各種資料を基に製造産業局車両室作成

競輪場の施設改修

- コロナ禍においても安心して競輪が開催できる環境や、男女を問わず選手が力を発揮できる環境を整えるべき。
- 様々な活用方法を模索することで、収益につなげていけるか否かが課題。

＜玉野競輪場内のホテルを選手宿舎として利用＞



(写真提供：玉野市)

＜冬期の函館競輪場をスケートリンクとして活用＞



(出所：函館競輪HP)

＜武雄競輪場内にプレイグラウンドを併設＞



(写真提供：武雄市)

＜京都向日町競輪場内にBMXエリアを併設＞



(出所：京都向日町競輪HP)

KEIRINの開催

- オリンピックや世界選手権などのUCI（国際自転車競技連合）基準に準じた「250競走」が令和3年10月より千葉市でスタート。これにより、国際スポーツとしての地位向上を図るとともに、エンターテインメント化によって新規顧客の獲得を目指している。
- また、国際大会で活躍する選手を輩出するため、強化指定選手に対して競輪業界から奨励金を支給している。
- JKAのほかに初めて、「一般財団法人日本サイクルスポーツ振興会（JCSPA）」を競技実施法人として指定（令和3年7月）。
- 東京オリンピックの自転車トラック競技が行われた伊豆ベロドロームを活用した250競走の開催が課題。

現行競輪との比較（主なもの）

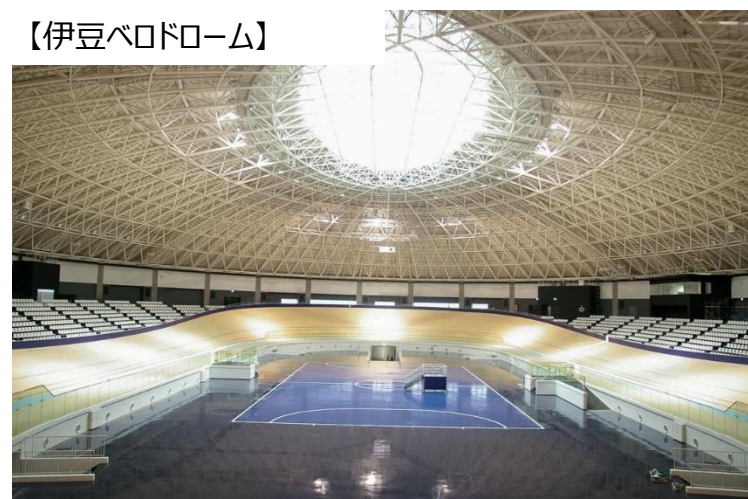
項目	250競走	現行競輪
走路1周あたりの距離	250m（UCI基準）	300～500m
車立	6車立	9車立
競走路の路面	木材で建築（UCI基準）	アスファルト、セメント、アンツーカー等で舗装

【千葉競輪場（TIPSTAR DOME CHIBA）】



（写真提供：千葉市）

【伊豆ベロドローム】

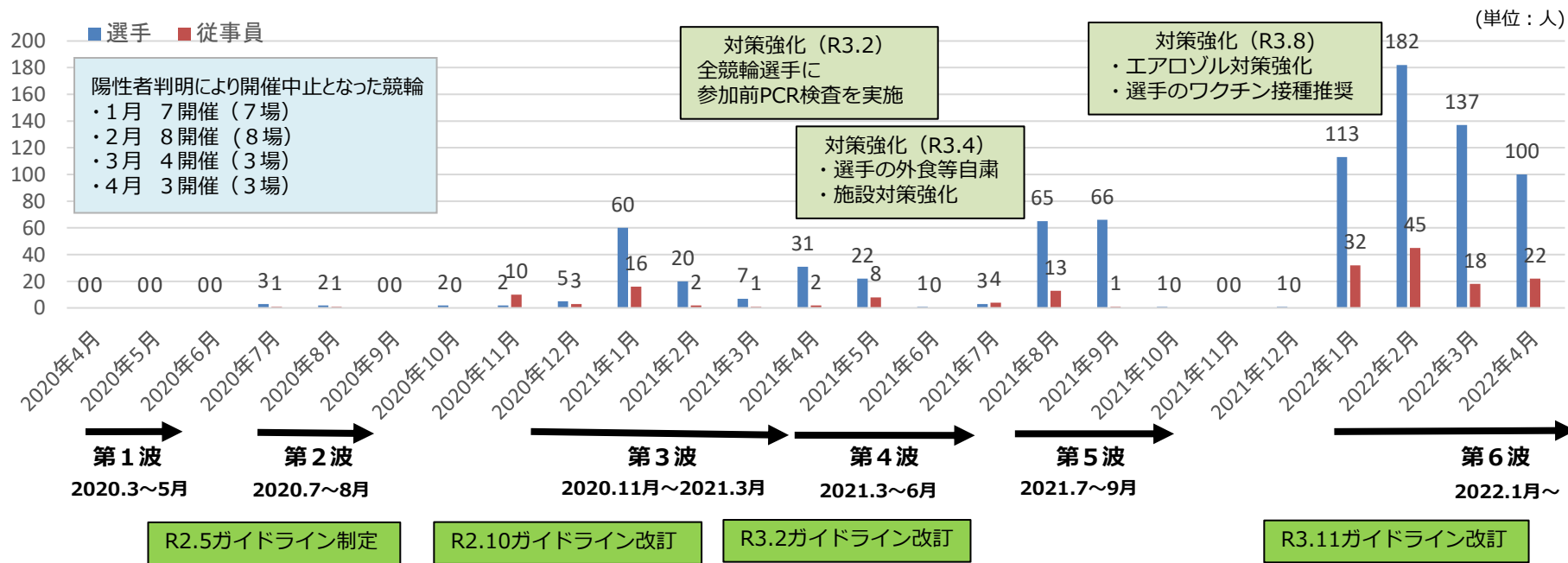


（写真提供：一般財団法人日本サイクルスポーツセンター）

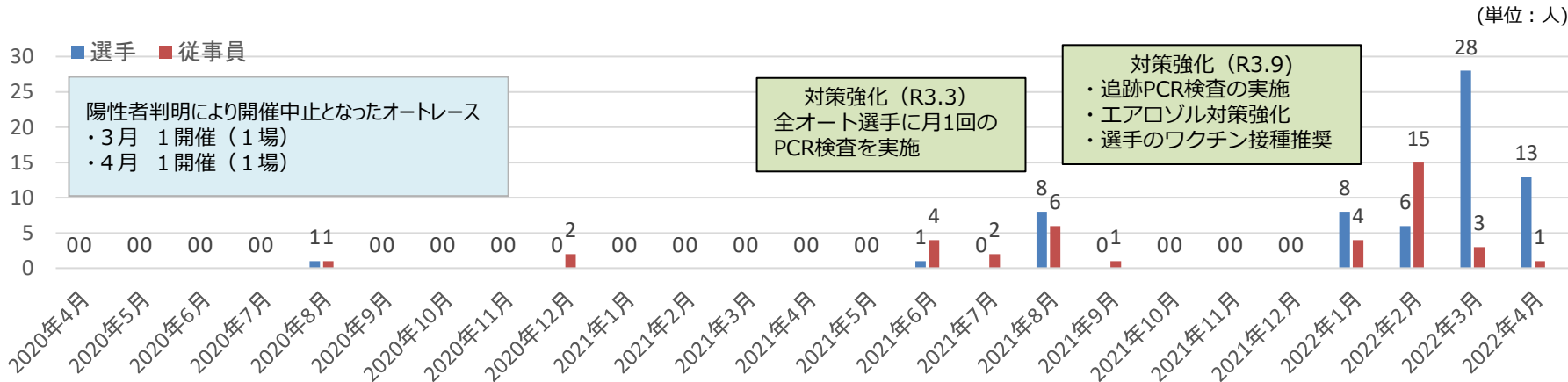
競輪・オートレース 選手・従事員の月別陽性者数推移

- PCR検査ですべての選手や執務員の陰性を確認するとともに競輪場の感染防止対策を強化してきている。
- 開催中に陽性者が出た場合、その節の競輪は原則として中止にしている。安全な競輪の開催が課題。

競輪



オートレース



出所：各種資料を基に製造産業局車両室作成（令和4年4月末時点）

大阪・関西万博への協力

- 競輪業界として2025年の大阪・関西万博に協力していくことを決定。
- 協賛競輪とJKAの補助事業等により資金的に協力していく。

名称：2025年日本国際博覧会
(略称：大阪・関西万博)

テーマ：いのち輝く未来社会のデザイン

サブテーマ：Saving Lives (いのちを救う)

Empowering Lives (いのちに力を与える)

Connecting Lives (いのちをつなぐ)

コンセプト：People's Living Lab (未来社会の実験場)

会場：夢洲(ゆめしま) (大阪市此花区)

開催期間：2025年4月13日～10月13日

想定来場者数：約2,820万人



【大阪・関西万博公式ロゴマーク(左)とキャラクター(右)】

【会場俯瞰図】

○大阪・関西万博協賛競輪

開催実績と予定

- ・福井GⅢ 約1億円(令和3年6月)
- ・京都向日町FⅠ 約0.5億円(令和4年1月)
- ・岸和田GⅢ (令和4年8月開催予定)
- ・別府FⅠ (令和5年1月開催予定)

○更なる協力の実施

本年5月、競輪3団体(全輪協・JKA・選手会)が2025年日本国際博覧会協会より、大阪・関西万博への支援に対する要望書を手渡された。

今後、更なる協力策を検討。

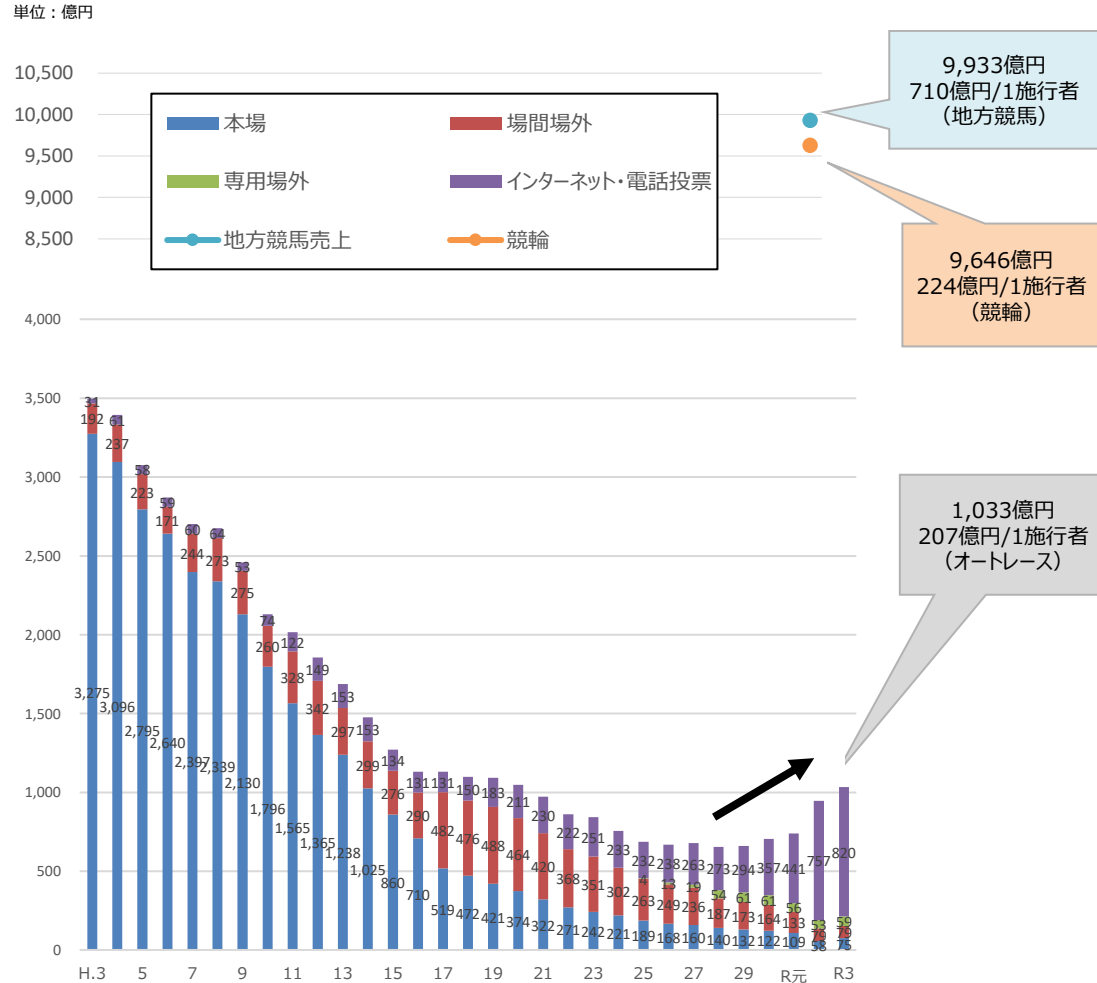


【要望伝達式の様子】 (写真提供：JKA)

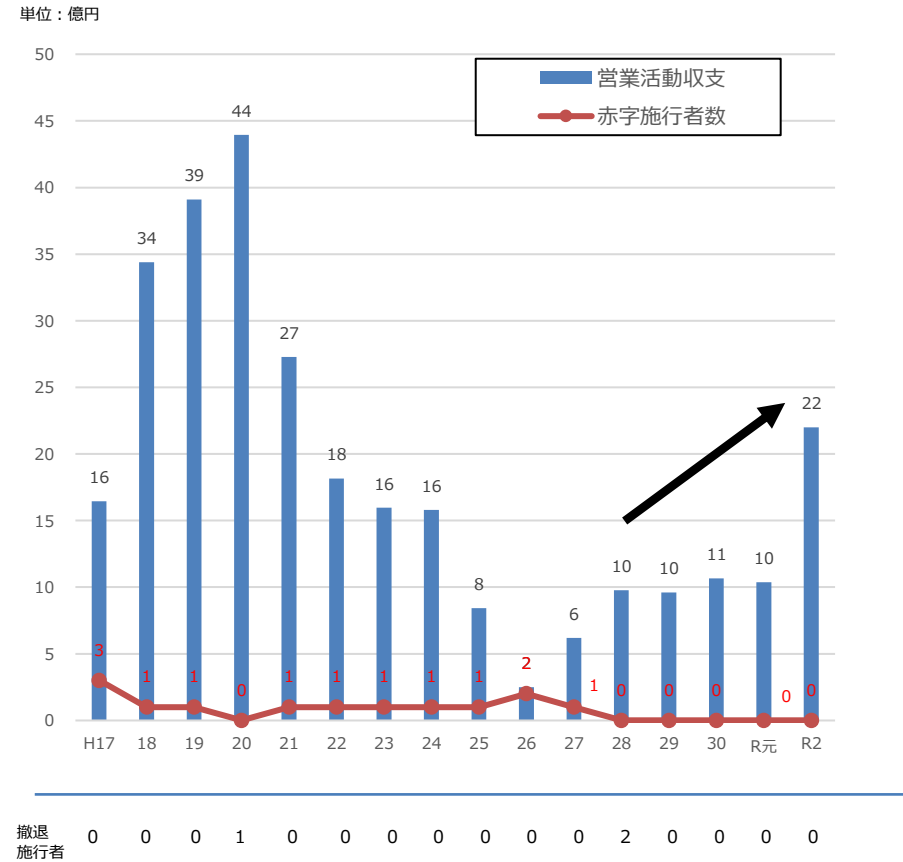
オートレース施行者全体の売上額と営業活動収益額の推移

- 売り上げは緩やかに回復しているが、更に伸ばせるかが課題。
- 営業活動収支の黒字を更に伸ばせるかが課題。

【売上の販路別構成】

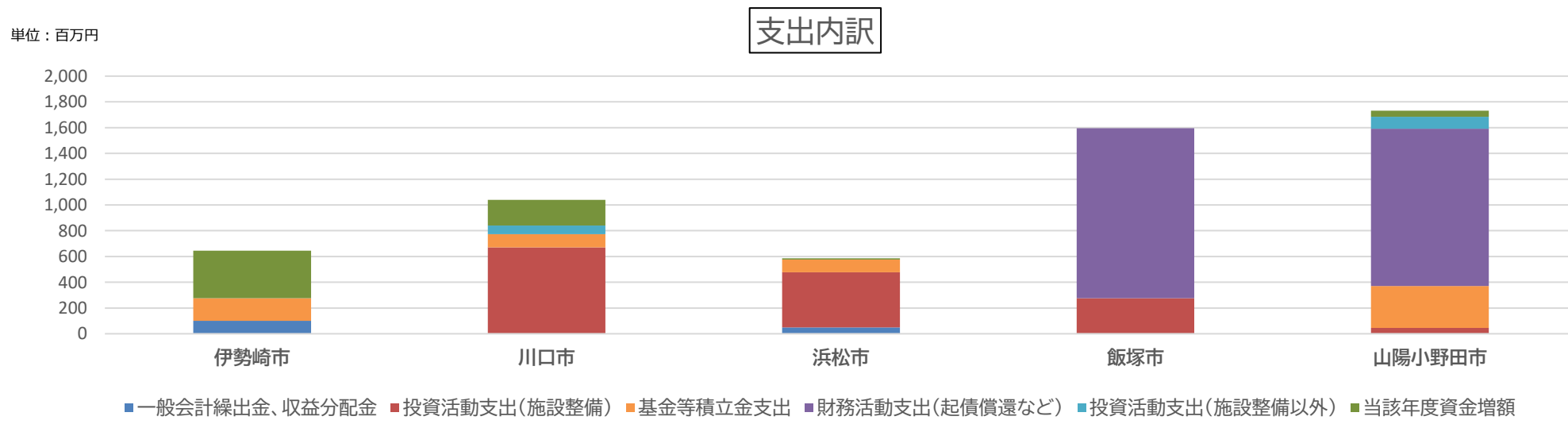
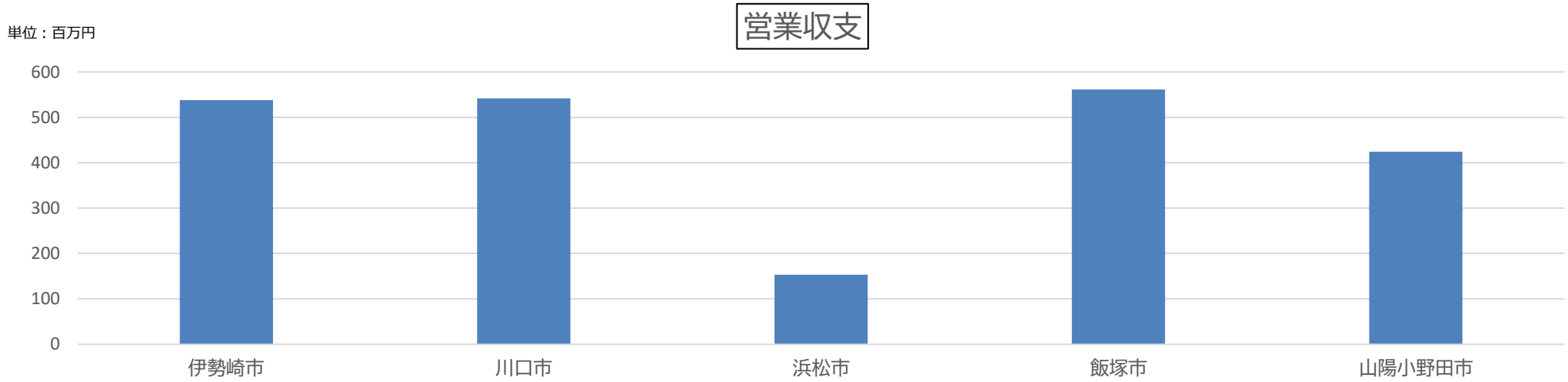


【営業活動収支】



令和2年度 オートレース施行者別の収支分析

- 全ての施行者で黒字となっている。
- 支出面では、起債償還と施設改修が主で、一般会計への繰出は少ない。



出所：各種資料を基に製造産業局車両室作成